

## 令和5年度 病害虫情報 第4号

果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ）の  
越冬量が平年を上回りました。

令和6年は果樹園への飛来と加害の増加が予想されるため  
注意してください。

## 1 越冬量調査

- (1) 令和6年1月に山林の落ち葉の中で越冬しているチャバネアオカメムシ成虫（図1）の越冬量調査をした結果、越冬量は平年より多く、大発生した令和2年と令和4年を上回りました（表1）。
- (2) チャバネアオカメムシの越冬量が多くなると、その年の生産園に近いトラップへの誘殺数が多くなります。
- (3) このことから、令和6年の果樹園への飛来と加害の増加が多くなることが予測されます。

表1 チャバネアオカメムシ越冬量調査結果（県内8地点平均 頭/m<sup>2</sup>）

令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	平年
1.29	0.04	1.67	0.08	2.50	0.79

※平年は過去10年の平均値

## 2 令和6年のチャバネアオカメムシの飛来と予想される被害

- (1) チャバネアオカメムシは果実を吸汁し、奇形や落果を引き起こします。
- (2) 5～6月頃の果樹園への飛来と加害の増加が心配されます。モモ、スモモ、オウトウ、ウメ等は注意が必要です。
- (3) 6月下旬頃までナシやリンゴへの飛来は散発的ですが、注意してください。
- (4) 8月以降に発生する新世代(第1世代)も平年より多くなることが予想されます。今後の情報に注意してください。



図1 チャバネアオカメムシの成虫  
(体長 10～12 mm)

※ チャバネアオカメムシのトラップ調査は4月から開始します。  
調査結果はこちらから。

→ <https://www.pref.gunma.jp/07/p14210015.html>



お問い合わせ先：群馬県農業技術センター環境部発生予察係 Tel:(0270)62-1059